発行：兵庫県水産技術センター TEL(078)941-8601
兵庫のり研究所 TEL(078)942-1531

ノリ養殖環境速報 KH-29-12（播磨灘）

平成 30 年 2 月 20 日 発行

※平成 29 年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

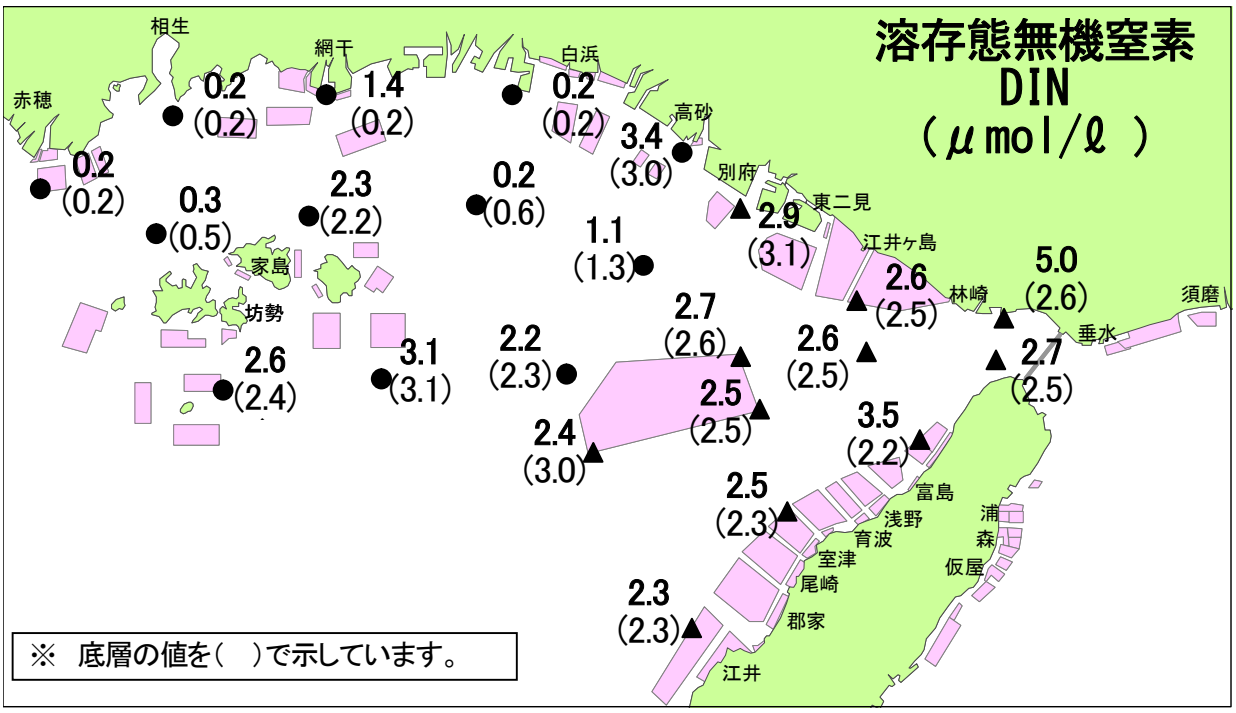
調査年月日：2 月 19 日

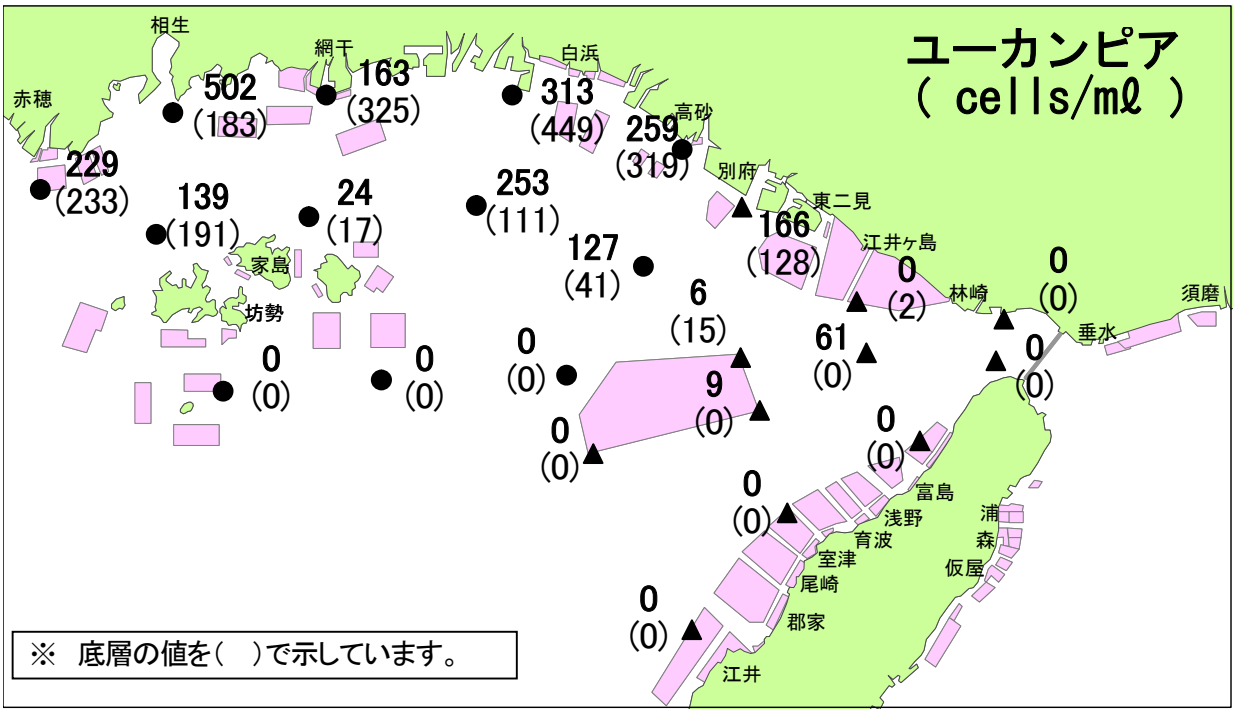
〔調査箇所は地図上に▲（東部）および●（西部）印で表示しています。〕

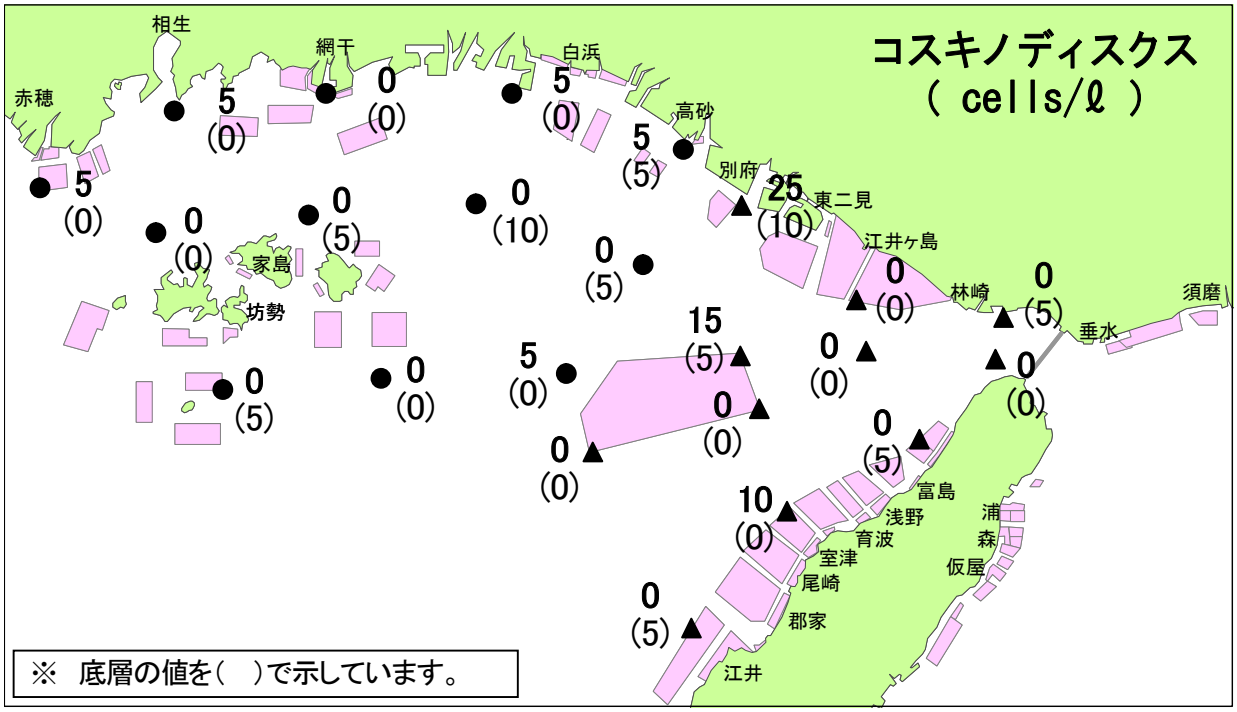
概況 播磨灘（調査海域）の DIN 濃度は、沖合域や東部海域で概ね 2μmol/L 以上、北部沿岸域は 1μmol/L を下回っている海域があります。

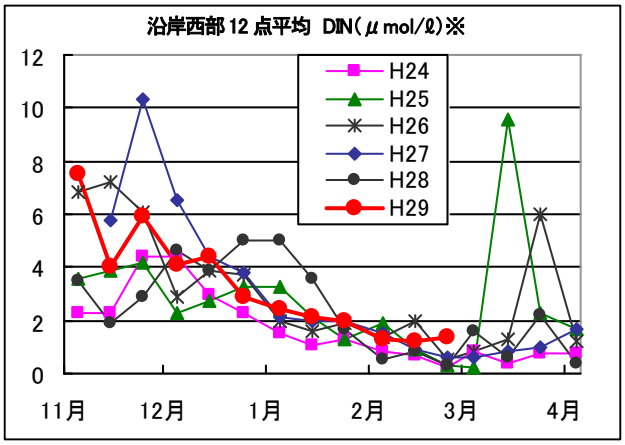
大型珪藻のユーカンピアは北部沿岸域（概ね加古川以西）で多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは全域で確認されていますが散見される程度です。

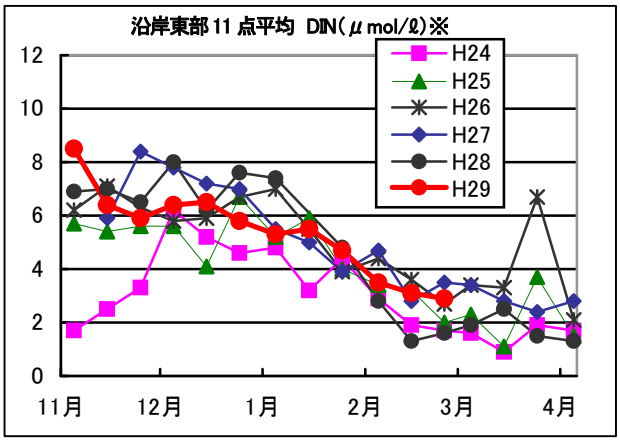
水温は、白浜以西では 6.9～7.3℃、家島諸島周辺では 7.2～7.6℃、江井ヶ島・高砂周辺で 6.9～7.3℃、明石海峡付近並びに西浦では 7.2～7.6℃、鹿ノ瀬周辺では 7.1～7.3℃でした。

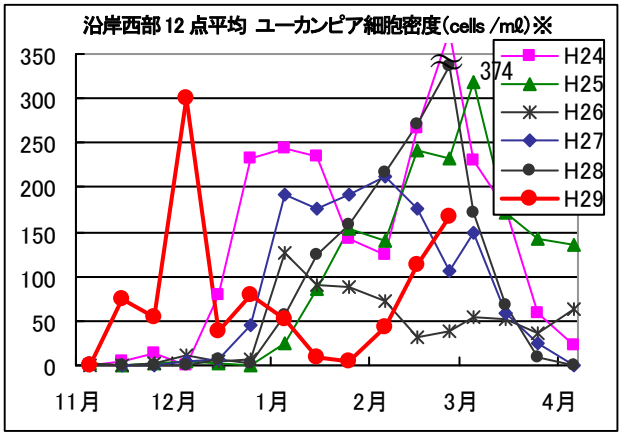


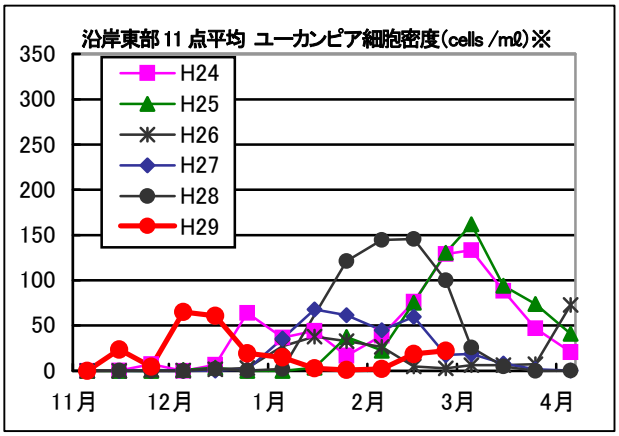


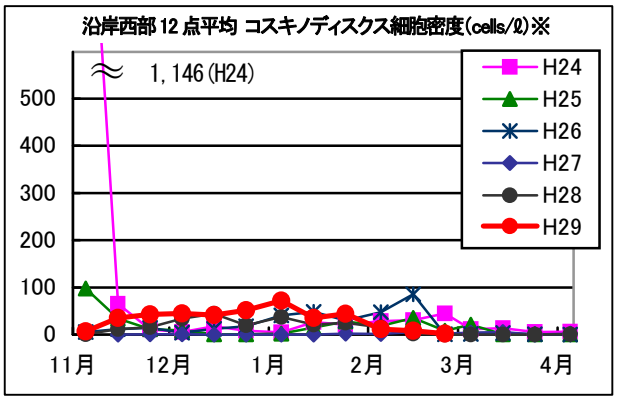


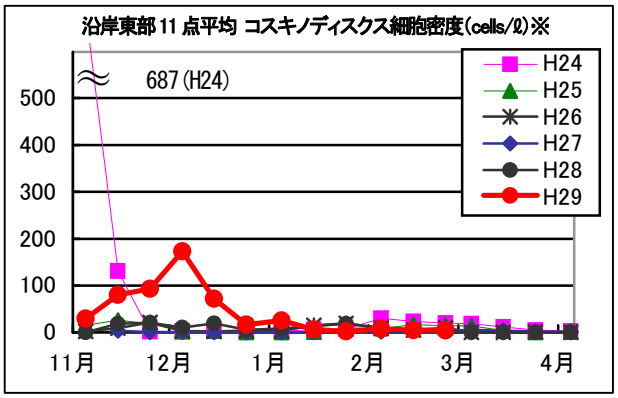








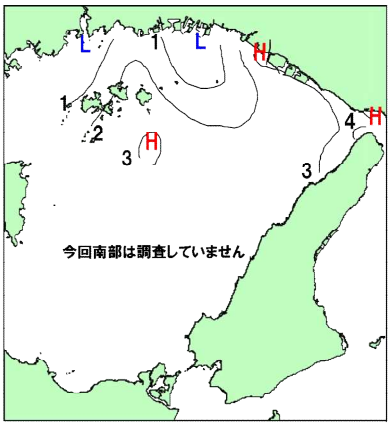




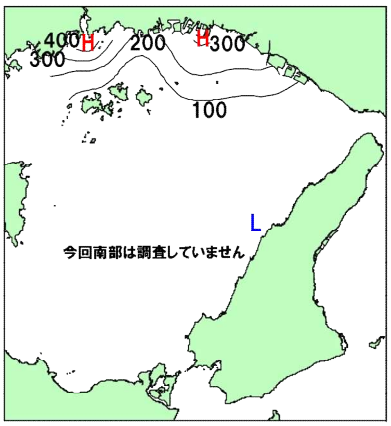
※1:数値はすべて表層の値です。2:調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年2月19日の水平分布状況（表層、実測値）

溶存態無機窒素濃度（DIN、μmol/L）



ユーカンピア（cells/ml）



コスキノディスクス（cells/L）

＊Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸（概ね加古川以西）では、前回の調査時に比べてユーカンピアゾディアクスの出現数が増加しています。今後の動向には十分にご注意下さい。コスキノディスクスワレイシーは散見される程度です。

播磨灘北部沿岸域では、表層のDIN濃度が低く、1μmol/Lを下回っている海域があります。家島諸島周辺及び東部海域のDIN濃度は、概ね2μmol/L以上を維持しています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並か少ないとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、やや低下傾向と考えられます。

週間天気予報　気象庁2月19日16時32分 発表　※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(2/20～2/26)の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすいでしょう。中部や南部では高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすい見込みです。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より低いでしょう。

降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

その他の情報

・岡山県の調査（2/15）では、日生沿岸でDIN（表層）が3.9～4.5μMでした。大型珪藻のコスキノディスクスは0～20cells/L、ユーカンピアは確認されませんでした。

・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。
http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm

※栄養塩の単位：μmol/L　＝　μg･at/L　＝　μM

【今後の予定】

・平成30年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。

・次回は平成30年3月2日頃に発行予定です。

＊この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
http://www.hyogo-suigi.jp/